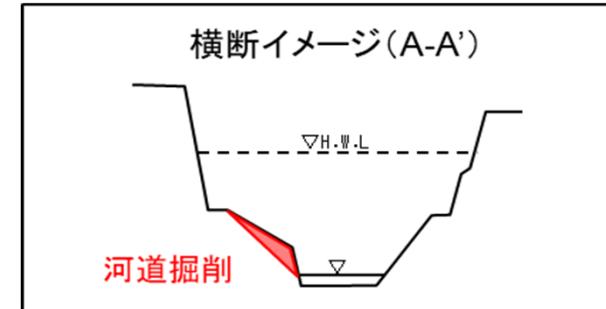


遠賀川直轄河川改修事業(彦山川下流部浸水被害軽減対策事業)【直轄】

河川-1

- 彦山川においては、平成24年7月の九州北部豪雨において、中流域の伊田観測所で既往最高水位を記録するとともに沿川では浸水被害が発生し、護岸崩壊等の施設被害が発生した。
- 令和7年度補正予算により、河道掘削を実施することで、早期に治水安全度の向上を図る。

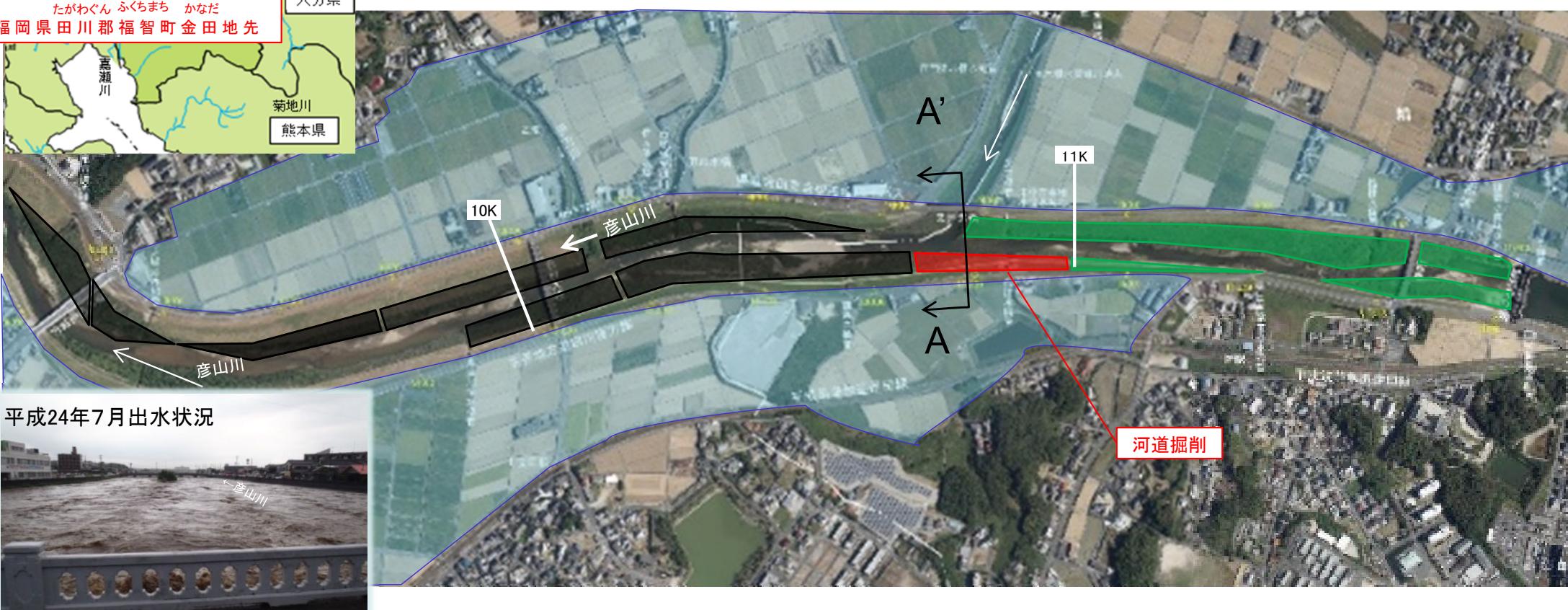


**令和7年度補正
実施内容: 河道掘削 等
事業費: 1,112百万円※**

【凡例】
 黒: R7当初まで
 赤: R7補正
 緑: R8以降

※遠賀川水系における直轄河川改修事業の
令和7年度補正予算の事業費を記載しております。

浸水想定区域



山国川直轄河川改修事業(唐原地区河川防災ステーション事業)【直轄】

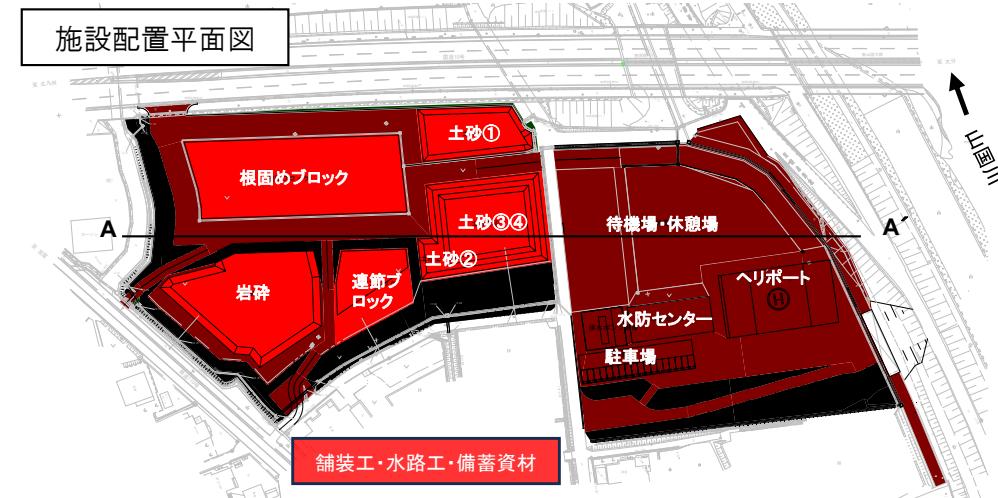
河川-2

- 山国川の防災拠点として、上毛町唐原地区において河川防災ステーションを整備中。
- 円滑かつ迅速な避難等に資するための「住民避難にも活用できる河川堤防等の整備の推進」として、水防活動の拠点整備を実施している。
- 令和7年度補正予算により、引き続き整備を実施することで、河川防災ステーションの完成を予定している。

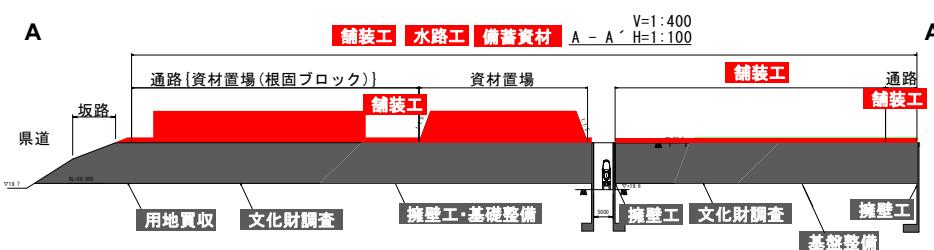


**令和7年度補正
実施内容:防災ステーション整備 等
事業費:307百万円※**

※山国川水系における直轄河川改修事業の
令和7年度補正予算の事業費を記載しております。



断面イメージ図



筑後川直轄河川改修事業(巨瀬川緊急対策特定区間事業)【直轄】

河川-3

- 筑後川水系巨瀬川では、令和5年7月豪雨により堤防越水や護岸崩壊が複数箇所で発生し、浸水家屋3,181戸、浸水面積1,690haの甚大な被害が発生。
- 緊急対策特定区間に指定し、緊急的に築堤及び河道掘削等の河川整備を実施することにより、令和5年7月豪雨と同規模の豪雨に対する被害の軽減を図る。
- 令和7年度補正予算により、築堤等を実施することで、早期に治水安全度の向上を図る。

位置図



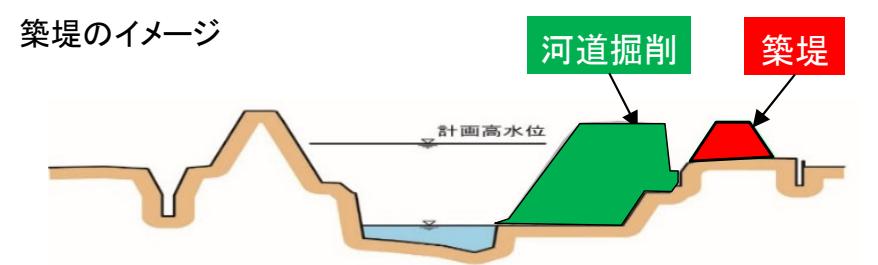
令和7年度補正 実施内容:築堤 等 事業費:2,054百万円※

※筑後川水系における直轄河川改修事業の
令和7年度補正予算の事業費を記載しております。

緊急対策特定区間
(巨瀬川 5k500~10K 000)



築堤のイメージ



六角川直轄河川改修事業(牛津川低平地対策事業(牛津川遊水地))【直轄】

- 令和元年8月洪水により甚大な被害を受けた六角川水系においては、再度災害を防止するため、遊水地、河道掘削等の整備を行い、令和元年8月洪水時の水位を計画高水位以下に低減させ、洪水被害の軽減を図ることを目的に事業を推進する。
- 令和7年度補正予算により、遊水地整備にかかる排水機場の整備及び地盤改良等を実施することで、早期に治水安全度の向上を図る。

位置図



**令和7年度補正
実施内容:遊水地整備 等
事業費:567百万円※**

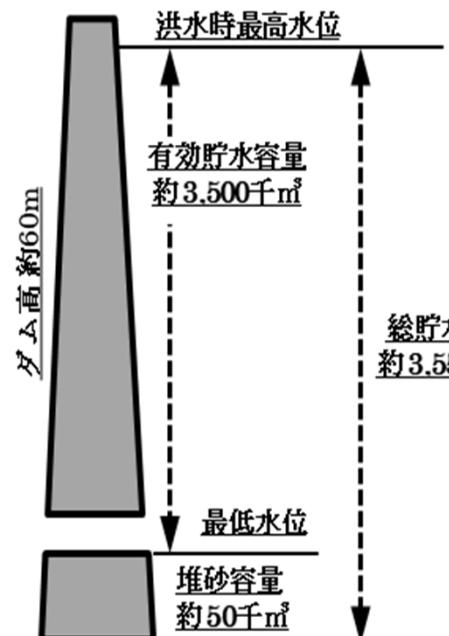
※六角川水系における直轄河川改修事業の
令和7年度補正予算の事業費を記載しております。

城原川ダム建設事業【直轄】

■事業概要

- 場所 佐賀県神埼市（筑後川水系城原川）
 - 目的 洪水調節
 - 諸元 堤高：約60m 総貯水容量：約3,550千m³
 - 経緯 昭和54年度 実施計画調査着手
平成30年度 建設事業着手
 - 事業効果 ダムによる洪水調節を行い、城原川ダム下流域の治水安全度の向上を図る。
- 洪水被害の軽減を図る洪水調節専用のダム

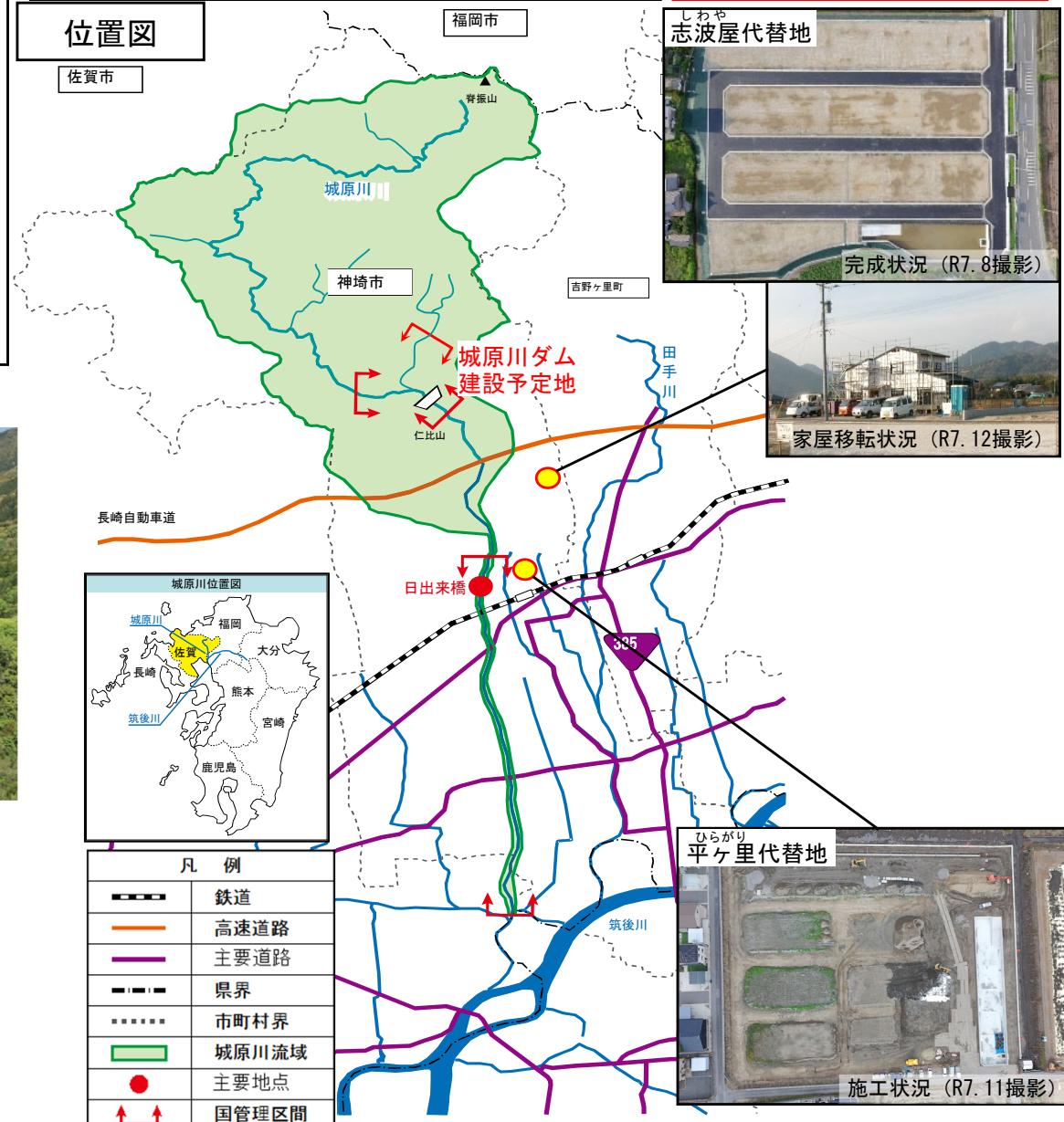
諸元



■令和7年度補正実施内容

用地補償 等

位置図



本明川直轄河川改修事業(半造川引堤事業)【直轄】

河川-6

- 本明川支川半造川は、昭和32年7月洪水(諫早大水害:約1/30)、昭和57年7月洪水(長崎豪雨:1/50)、平成11年7月洪水(諫早集中豪雨:1/15)により甚大な被害を受けた。
- 半造川は、流下能力が1/10程度と本明川水系では著しく低いことから、浸水被害軽減のため、整備計画目標流量(約1/30)での改修が早期に必要である。
- 令和7年補正予算により、築堤(引堤)を実施することで、早期に治水安全度の向上を図る。

事業内容



※本明川水系における直轄河川改修事業の令和7年度補正予算の事業費を記載しております。

効果

引堤実施前
浸水戸数: 約1,060戸

本明川水系 国管理河川の浸水想定図
(1/30規模降雨)【現況河道】



本明川ダム建設事業【直轄】

河川-7

■事業概要

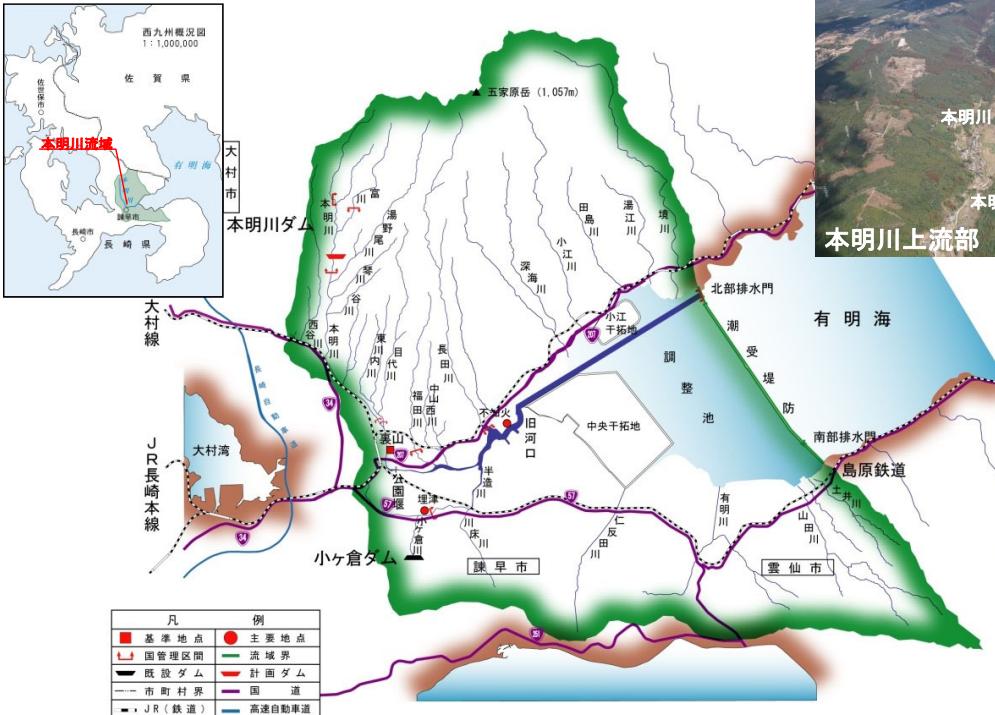
○場所 長崎県諫早市 (本明川水系本明川)
○目的 洪水調節

○諸元 堤高: 約60.0m 総貯水容量: 約6,200千m³
○経緯 平成2年度 実施計画調査着手
平成6年度 建設事業着手

○事業効果 ダムによる洪水調節を行い、本明川ダム下流域の治水安全度の向上を図る。また、下流河川の環境を維持するための水量を確保し渇水被害の軽減を図る。

■洪水被害と渇水被害の軽減を図るダム

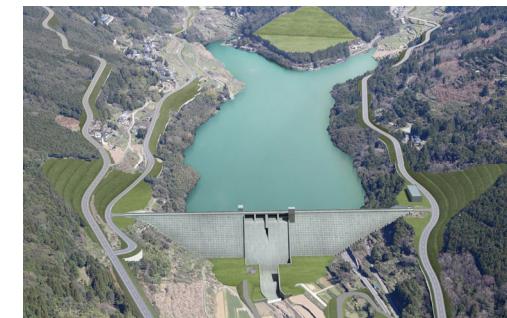
位置図



■令和7年度補正実施内容

建設発生土受入地整備、用水路付替、
管理設備詳細設計 等

事業費 : 1,000百万円



本明川ダム完成イメージ



基礎掘削施工状況
(令和7年10月撮影)



諸元

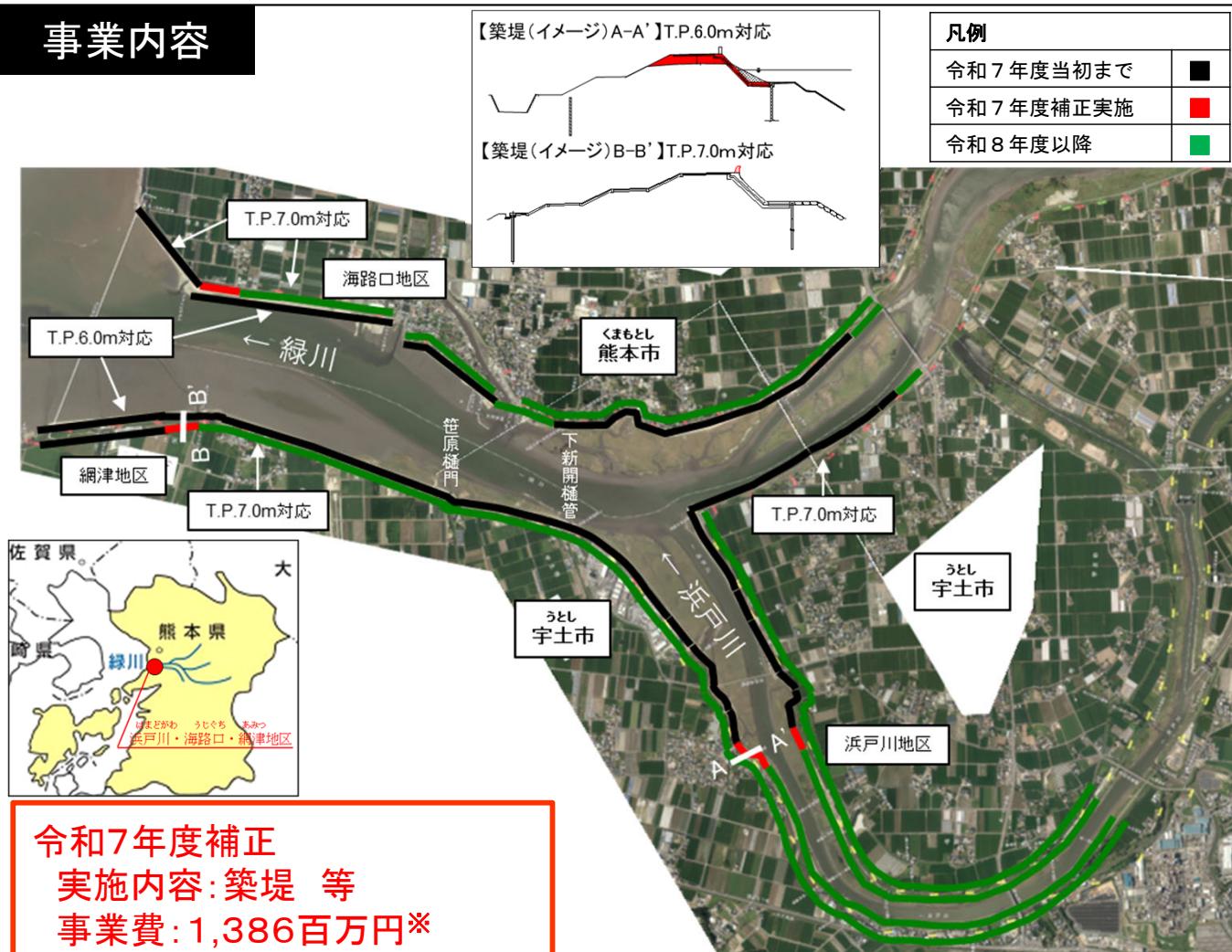


緑川直轄河川改修事業(緑川・浜戸川高潮対策事業)【直轄】

河川-8

- 緑川河口付近や浜戸川においては、堤防高が満足しておらず、高潮に対する安全度が不足している。
- 既往最大規模である昭和2年台風9号と同規模の高潮対策（T.P. 6.0m対応）を実施するとともに、緑川流域に伊勢湾台風規模の高潮が発生した場合の対策（T.P. 7.0m対応）として高潮堤防の整備を段階的に実施する。
- 令和7年度補正予算により、築堤（高潮対策）を実施することで、早期に治水安全度の向上を図る。

事業内容

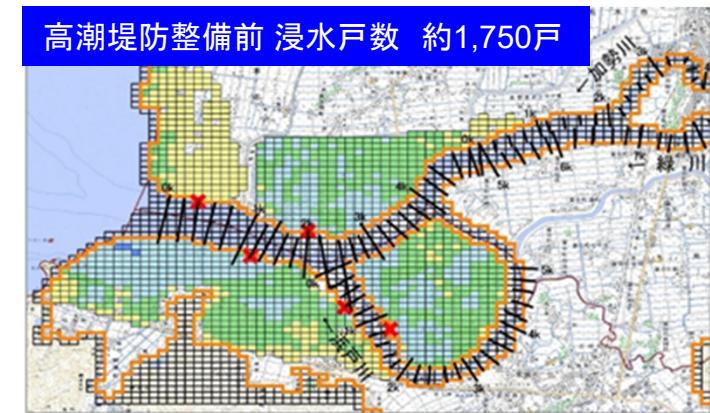


※緑川水系における直轄河川改修事業の令和7年度補正予算の事業費を記載しております。

効果

高潮堤防整備を実施することにより、緑川・浜戸川流域で既往最大規模の高潮に対して、浸水被害の解消が図られる。

高潮堤防整備前 浸水戸数 約1,750戸



高潮堤防整備後(TP6.0) 浸水戸数 約0戸



しらかわ 白川直轄河川改修事業(白川固定堰群改築事業)【直轄】

河川-9

- 熊本市中心市街部を流れる白川においては、固定堰群(井樋山堰、十八口堰、三本松堰)が及ぼす流下阻害による水位上昇や土砂補足による流下断面不足により白川市街部の流下能力を著しく低下させている。また、平成28年熊本地震を契機として白川上流の山腹から河道内への土砂流入が増加し、特に固定堰上流付近への堆積が顕著となり、治水安全度が低下している。
- 令和7年度補正予算により、掘削護岸等を実施することで、早期に治水安全度の向上を図る。

位置図



令和7年度補正
実施内容:掘削護岸 等
事業費:886百万円※

※白川水系における直轄河川改修事業の
令和7年度補正予算の事業費を記載しております。



【凡例】

- :R7当初まで
- :R7補正
- :R8以降

川辺川ダム建設事業【直轄】

河川-10

■事業概要

- 場所 熊本県球磨郡相良村（球磨川水系川辺川）
- 目的 洪水調節
- 諸元 堤高:107.5m 総貯水容量:約1億3,000万m³
- 経緯 昭和42年度 実施計画調査着手
昭和44年度 建設事業着手
令和4年度 球磨川水系河川整備計画を策定
- 事業効果 ダムによる洪水調節を行い、川辺川ダム下流域の治水安全度の向上を図る。

■洪水被害の軽減を図る洪水調節専用のダム

■令和7年度補正実施内容

付替道路工事、生活再建対策盛土工事、地質調査、本体関連施設設計等

事業費：1,648百万円



生活再建対策盛土のイメージ*

*平場整備の候補地を示したものであり、整備が決まったものではありません。

位置図



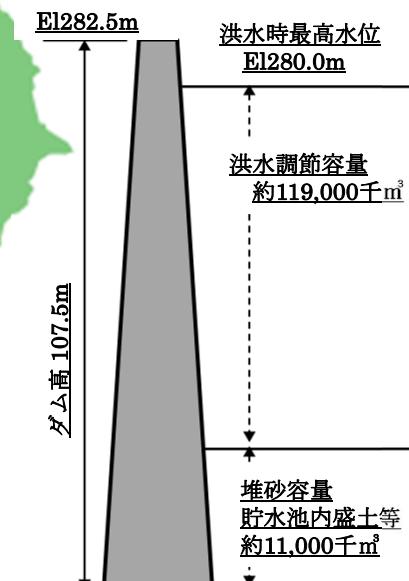
菊池川

白川
緑川

球磨川

凡例
— 河川
■ ダム
■ 流域

諸元



生活再建対策盛土工事



付替道路工事

実施箇所



川辺川の流水型ダムのイメージ

*現時点の設計案に基づき作成しており、今後変更の可能性があります。

- 緑川ダムは、管理開始から54年経過しており、洪水調節容量内の堆砂が進行している状況であり、洪水調節機能に支障を及ぼすおそれがある。
 - 令和7年度補正により、洪水調節容量内の堆積土砂の集中的な除去を推進していく。

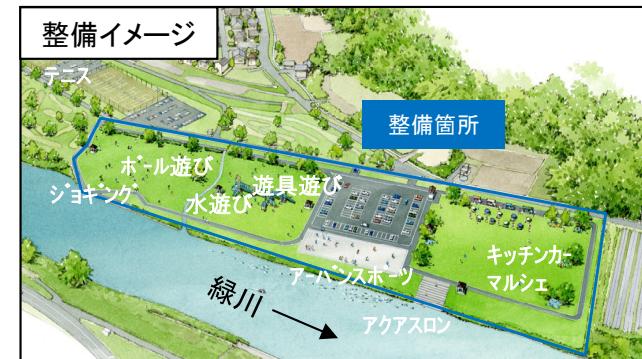


令和7年度補正
実施内容:堆砂土砂掘削
事業費:250百万円

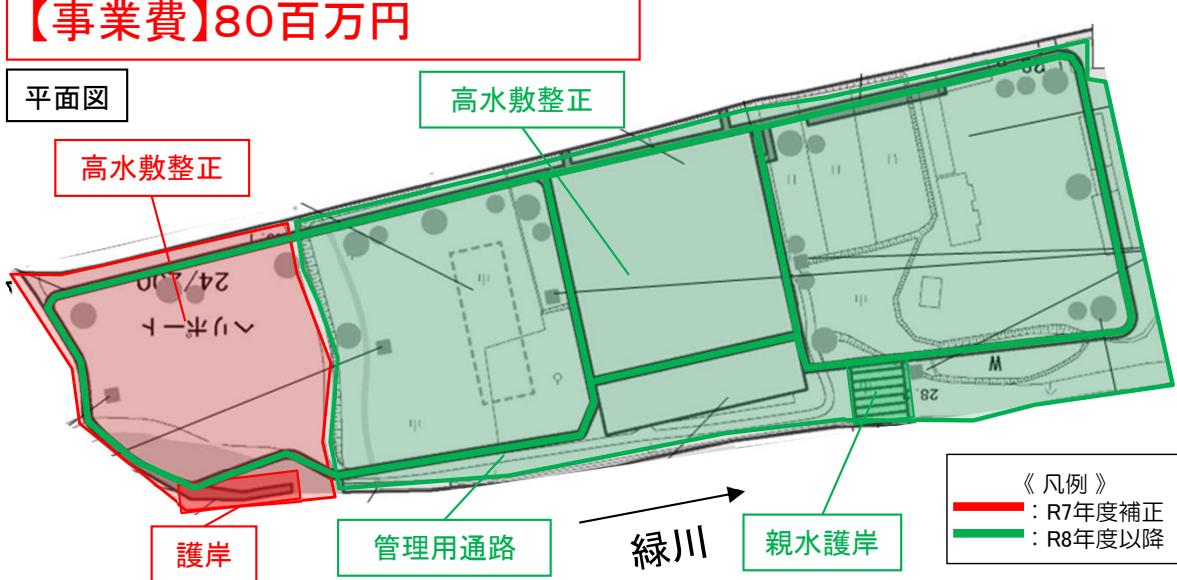


緑川水系緑川 総合水系環境整備事業【直轄】

- 甲佐町は、スポーツを楽しめる環境づくりを推進しており、これまで国と町が連携を図り整備した総合運動公園では、現在、多くの方々に利活用されているところであるが、運動公園利用と併せた様々な利活用が安全かつ便利に行える場を新たに整備することで、利用者層や利活用者の拡大とともに地域住民の憩いの場となる河川空間の創出に取り組んでいる。
- 令和7年度補正予算により高水敷整正及び護岸の整備を行うことで、当該箇所の安全性を向上させるとともに、本事業の促進を図る。



**令和7年度補正
【実施内容】高水敷整正、護岸
【事業費】80百万円**



水辺空間の活用状況(総合運動公園等)



球磨川水系(川辺川)直轄砂防事業【直轄】

河川-13

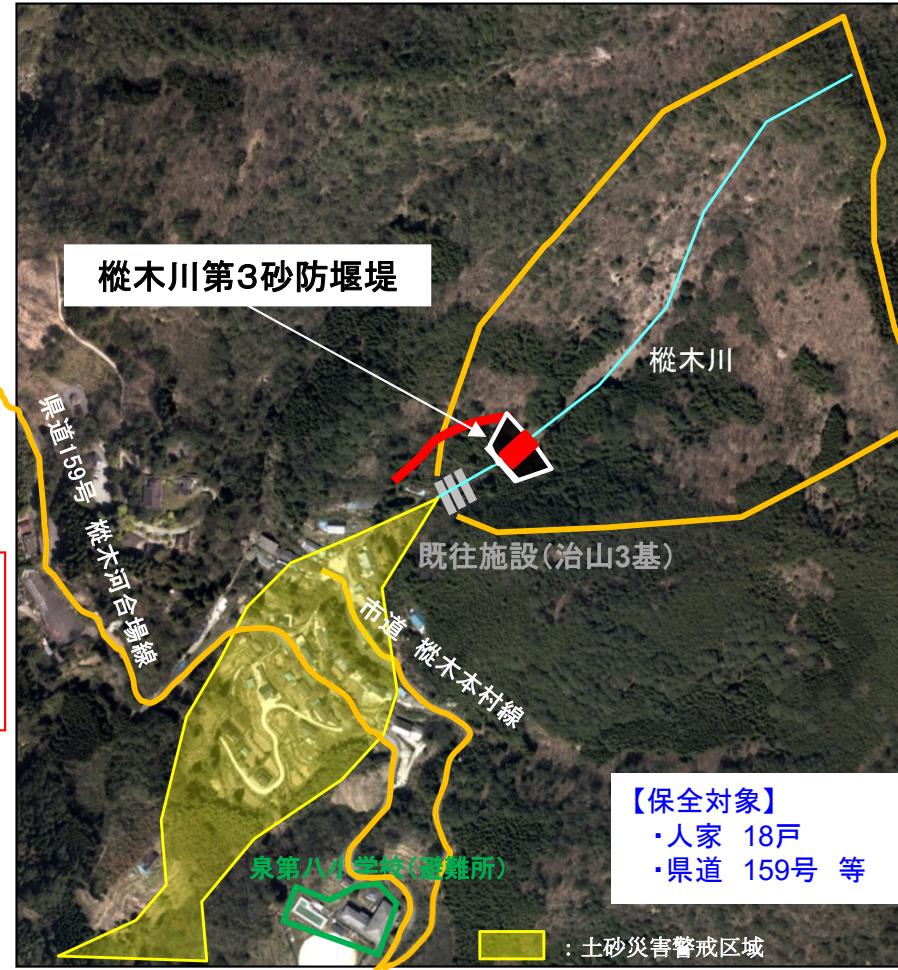
もみぎがわ やつしろし いづみまち

- 横木川流域(八代市泉町)は、平成16、17年災害により甚大な被害を受け、多量の不安定土砂及び流木が残存しており、下流の家屋や県道159号等を保全するため、砂防施設の整備が早期に必要である。
- 令和7年度補正予算により、砂防施設を完成させることで、早期に地域の安全度向上を図る。

位置図



平面写真



**令和7年度補正
実施内容:砂防堰堤工
事業費:637百万円***

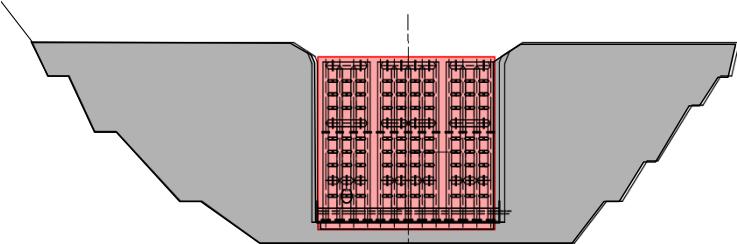
*事業費については、球磨川水系における直轄砂防事業の令和7年度補正予算を記載しております。

樅木川第3砂防堰堤整備状況



凡例

令和7年度まで	■
令和7年度補正実施	■

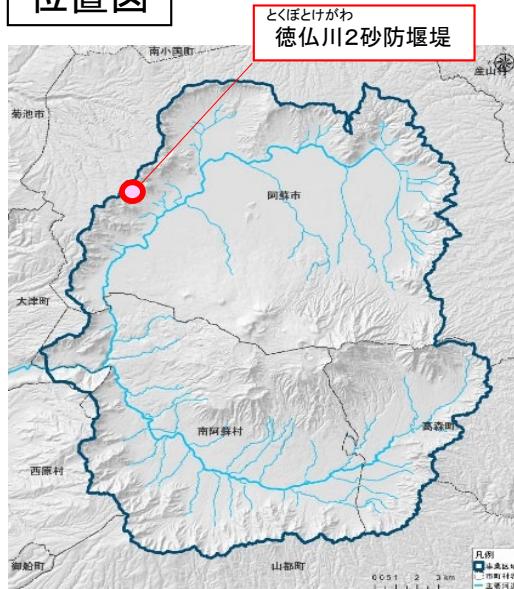


施工箇所(樅木川第3砂防堰堤)

阿蘇山直轄砂防事業【直轄】

- 徳仏川流域(阿蘇市)は、平成28年熊本地震とその後の降雨等により多量の不安定土砂及び流木が残存しており、下流域に位置する家屋や県道149号等を保全するため、砂防施設の整備が早期に必要である。
- 令和7年度補正予算により、砂防施設整備を実施することで、早期に地域の安全度向上を図る。

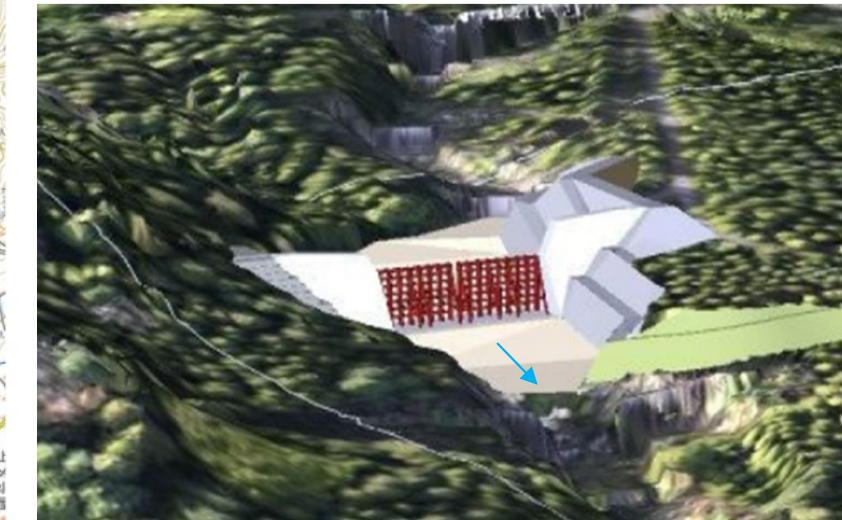
位置図



流域図



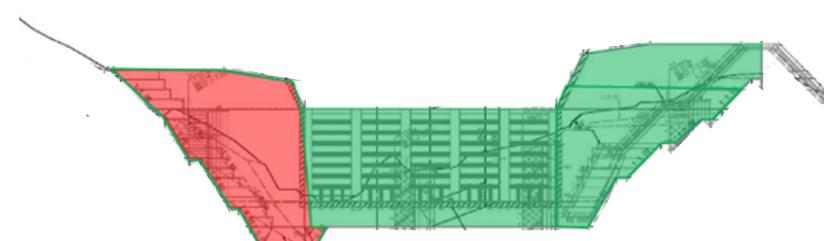
徳仮川2砂防堰堤完成イメージ



**令和7年度補正
実施内容:砂防堰堤工
事業費:480百万円※**

※事業費については、阿蘇山における
直轄砂防事業の令和7年度補正予算を記載
しております。

凡例	
令和7年度まで	■
令和7年度補正実施	■
令和8年度以降	■



球磨川大規模災害関連事業【直轄】

河川-15

- 令和2年7月豪雨では記録的な降雨となり、球磨川流域では観測開始以来最高の雨量・水位を記録し、河川の氾濫等により、家屋の流出など甚大な被害を受けた。
- 令和7年度補正予算にて、河道掘削、輪中堤・宅地かさ上げ、堤防整備（引堤）、遊水地を実施し、浸水被害の軽減を図る。



令和2年7月豪雨【被害状況】		
市町村名	浸水面積(ha)	浸水戸数(戸)
人吉市	約518	4,681
錦町	約290	約280
相良村 (柳瀬橋下流)	約90	約260
相良村 (柳瀬橋上流)	約130	約170
球磨村	約70	約290
八代市	約25	約520
あさぎり町	約20	約4
芦北町	約5	約70
合計※	約1,150	約6,280

※浸水面積、戸数については、切り上げ等により合計と合わない。

【八代市藤本地区】宅地かさ上げ進捗状況



【球磨村渡地区】引堤施工状況

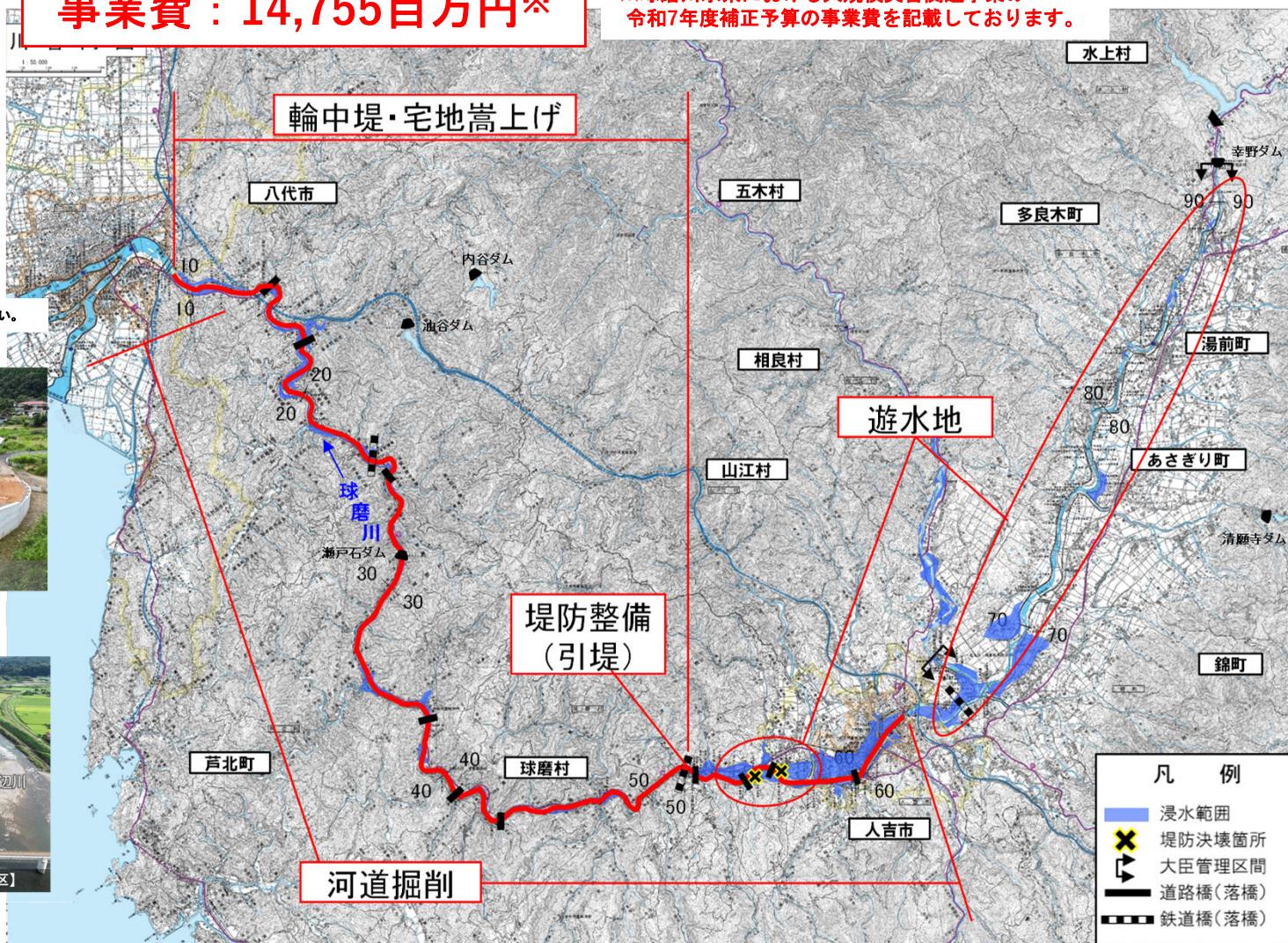


【相良村柳瀬地区】遊水地施工状況



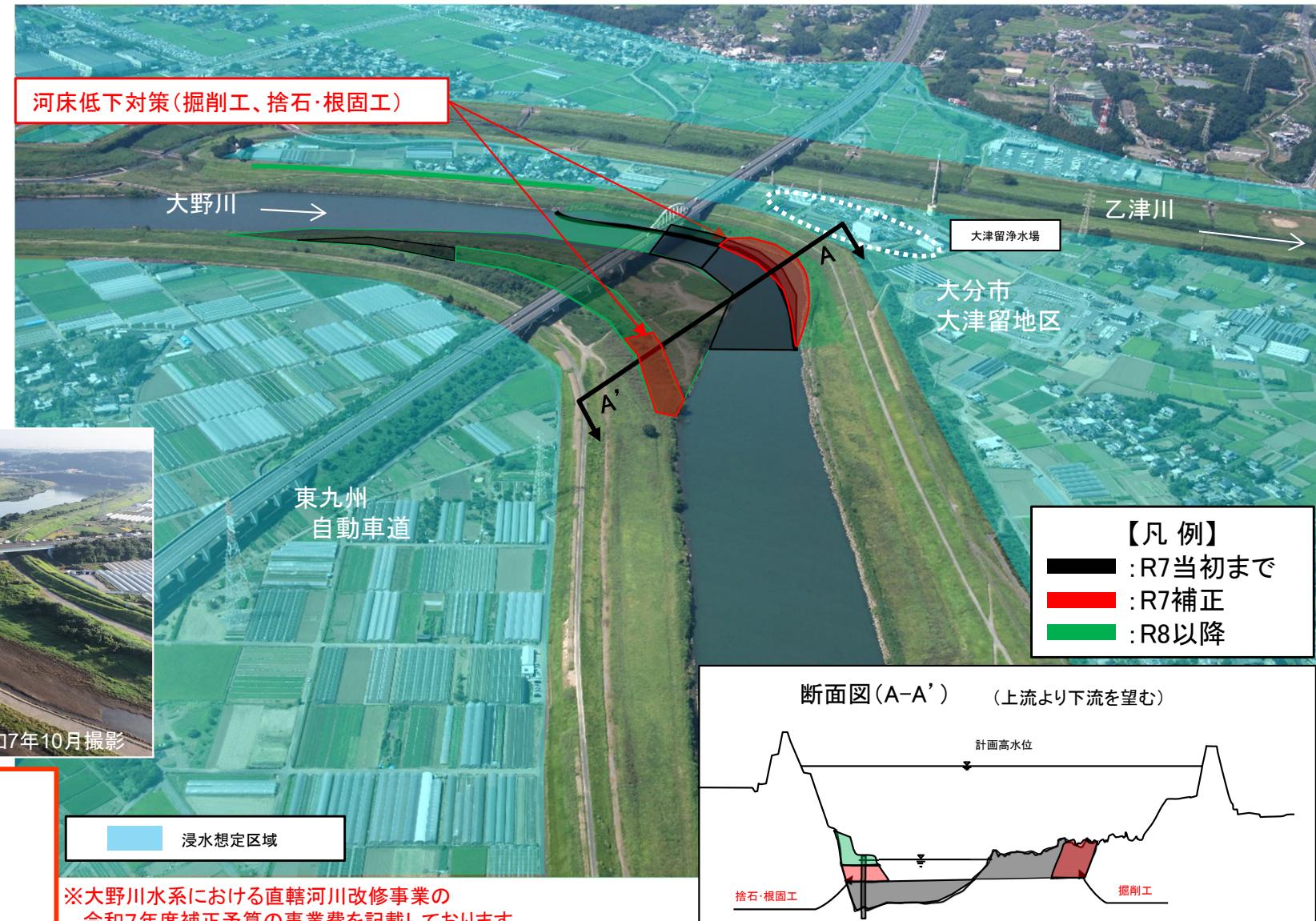
事業費：14,755百万円※

※球磨川水系における大規模災害関連事業の
令和7年度補正予算の事業費を記載しております。



大野川直轄河川改修事業(大津留地区河床低下対策事業)【直轄】

- 大野川左岸大津留地区では、観測史上最大の洪水となった平成29年9月台風第18号洪水により、河床洗掘が進行している。また、湾曲による偏流により左右岸水位差が生じている。
- 令和7年度補正予算により、河床低下対策等を実施することで、早期に治水安全度の向上を図る。



令和7年度補正
実施内容:河床低下対策 等
事業費:665百万円*

大分川水系大分川 総合水系環境整備事業【直轄】

河川-17

- 大分川水系大分川下流域では、大分市が推進するスポーツによるまちづくりと一体となり、河川とまちが融合したスポーツ拠点および多様な利活用が可能な魅力のある河川空間の創出に取り組んでいる。
- 令和7年度補正予算により高水敷整正を行い、上流側から滝尾橋までの一連の広場整備を完成させ、安全性や快適性を向上させることで、水辺で憩う場として広範囲に利活用が可能となるよう、水辺利用の促進を図る。

位置図

福岡県

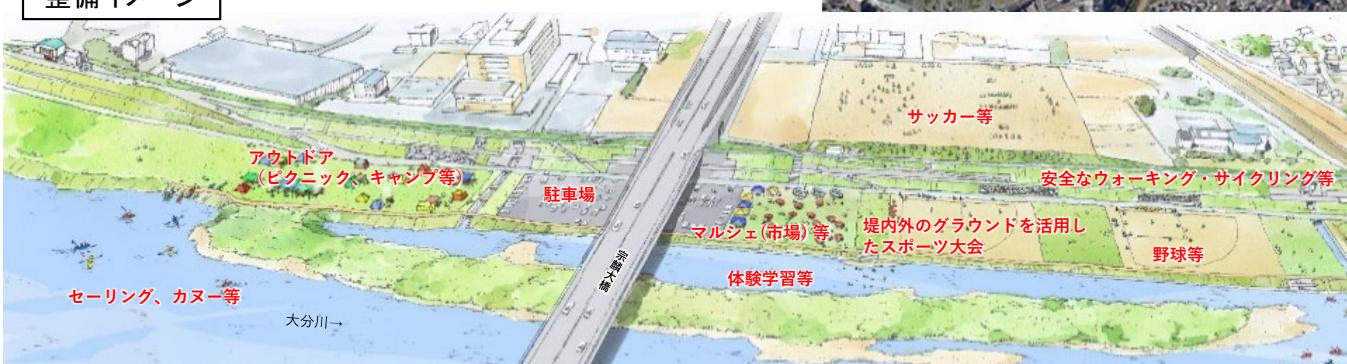
大分県

熊本県

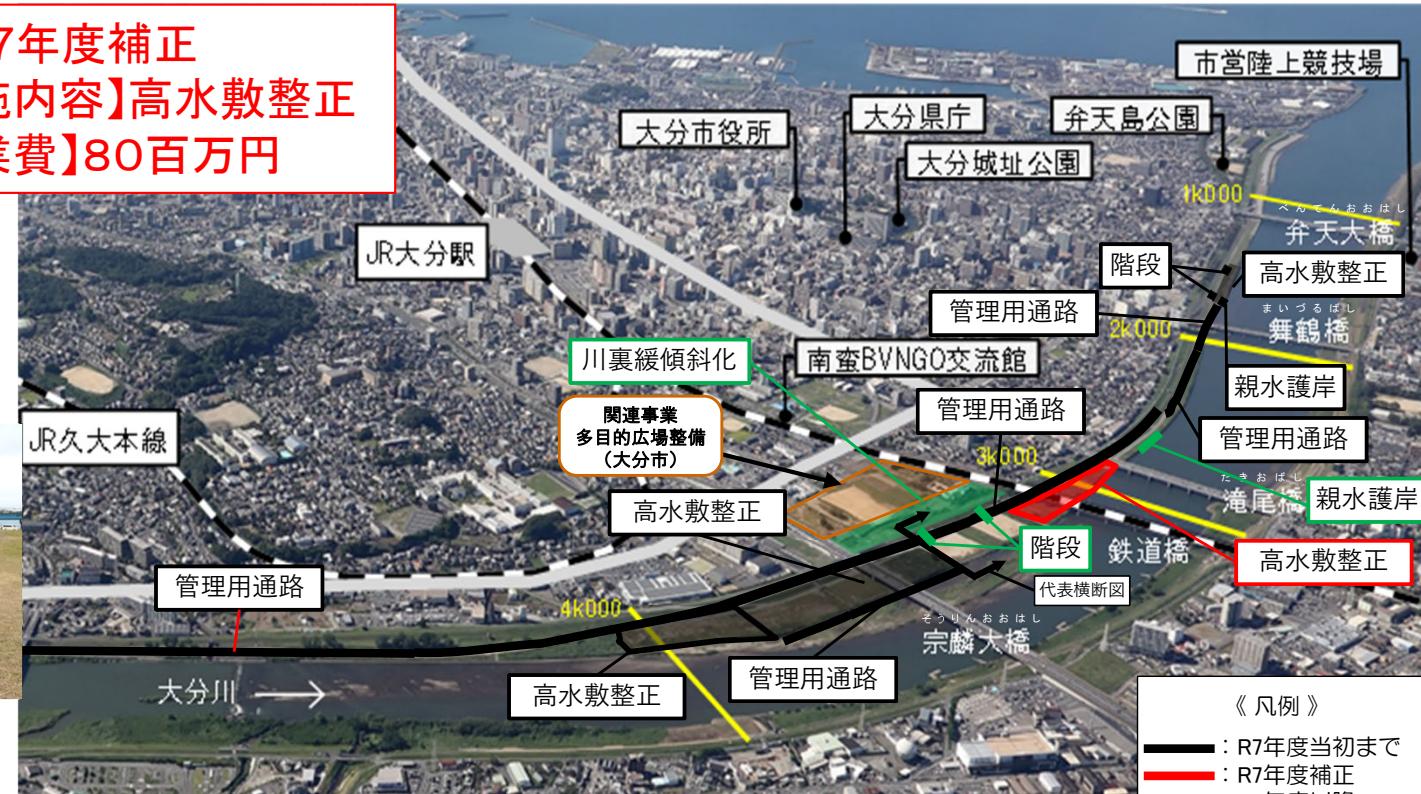
水辺空間の活用イメージ



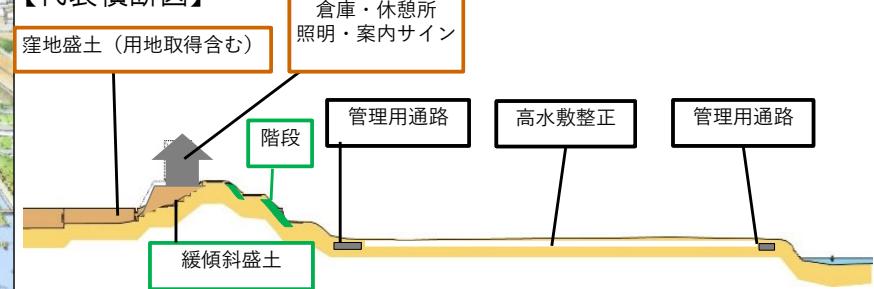
整備イメージ



**令和7年度補正
【実施内容】高水敷整正
【事業費】80百万円**



【代表横断図】



大淀川直轄河川改修事業(大岩田遊水地整備事業)【直轄】

河川-18

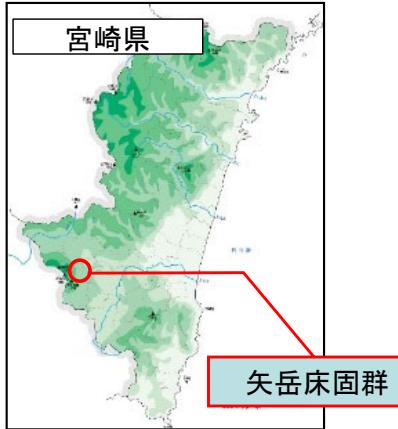
- 遊水地の整備を実施している都城市街部では、氾濫危険水位を超過する洪水(H17,H23,H28,H30, R1,R2,R4)が近年頻発しており被害が発生している。
- 大岩田遊水地を整備することで、主要地点岳下水位観測所において、約100m³/sの洪水調節を行う。
- 令和7年度補正予算により、遊水地整備等を実施することで、早期に治水安全度の向上を図る。



大淀川水系直轄砂防事業【直轄】

やたけがわ にしもろかたぐんたかはるちょう

- 矢岳川流域(西諸県郡高原町)は、火山地域に位置し、ガリーの発達等による土砂流出が著しく、砂防施設に損傷が生じやすい状況にあることから、砂防施設の整備が早期に必要である。
- 令和7年度補正予算により、砂防施設整備(補修)を実施することで、早期に地域の安全度向上を図る。



**令和7年度補正
実施内容:床固工
事業費:120百万円***

*事業費については、大淀川水系における直轄砂防事業の令和7年度補正予算を記載しております。



本堤水通し天端の摩耗・破損



水叩き摩耗

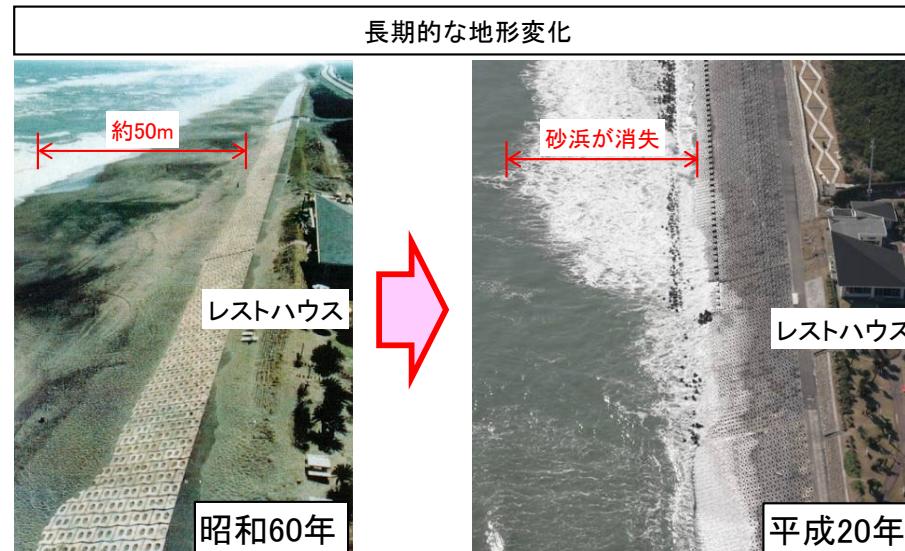


矢岳床固群(第3床固) 補修完成イメージ

宮崎海岸直轄海岸保全施設整備事業【直轄】

河川-20

- 宮崎海岸は約50年間で平均約65m(最大94m)の砂浜が侵食され、一つ葉有料道路目前まで浜崖が迫っており、人家や重要幹線道路への越波など、地域経済への影響は甚大となるおそれがある。
- 波浪による海岸の侵食対策として、関係機関と連携し、海岸保全施設の整備を実施している。
- 令和7年度補正予算により、突堤の整備を行うことで、早期に海岸の侵食対策を実施する。

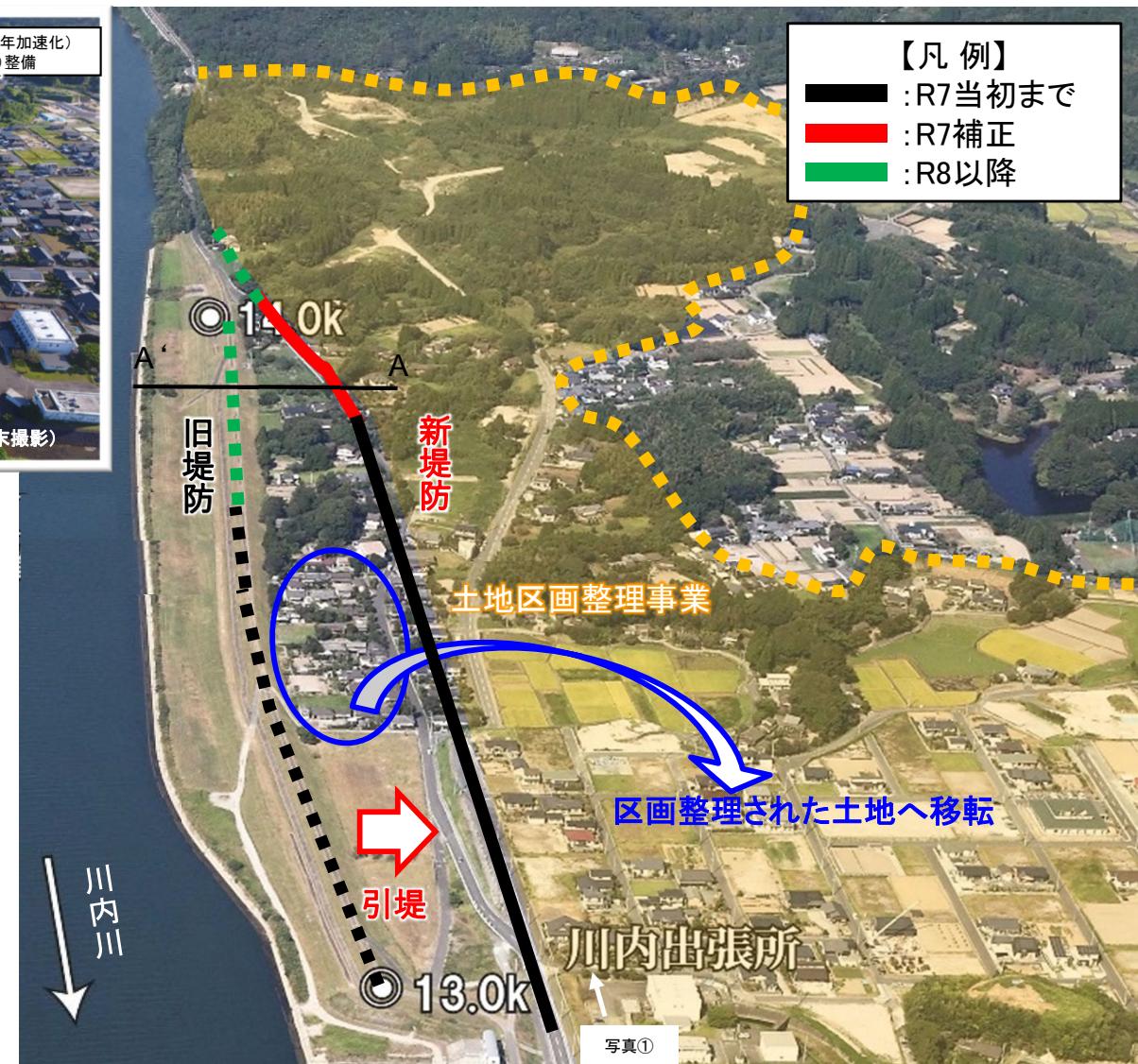
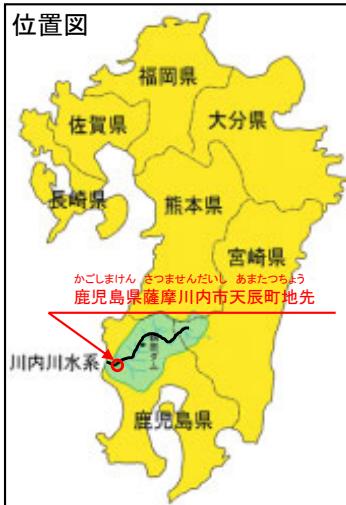


**令和7年度補正
事業内容:突堤等
事業費 : 164百万円**

川内川直轄河川改修事業(天辰第二地区まちづくり一体型引堤事業)【直轄】

河川-21

- 川内川では、薩摩川内市を含む下流部において、整備計画の目標流量がHWL超過する区間が存在するため、薩摩川内市のまちづくり(土地区画整理事業等)と一体となり、天辰第二地区の引堤事業を実施している。
- 令和7年度補正予算により、築堤等を実施することで、早期に治水安全度の向上を図る。



令和7年度補正
実施内容:築堤 等
事業費:1,798百万円※

※川内川水系における直轄河川改修事業の令和7年度補正予算の事業費を記載しております。

桜島直轄砂防事業【直轄】

あり むら がわ か ご しまし

- 有村川(鹿児島市)は、桜島の活発な火山活動により、土砂生産が多量の地域であり、出水のたびに大量の土砂が流出し、砂防施設に損傷が生じやすい状況にあることから、下流の家屋や国道224号を保全するため、砂防施設の整備が早期に必要である。
- 令和7年度補正予算により、砂防施設整備(改築)を実施することで、早期に地域の安全度向上を図る。



**令和7年度補正
実施内容:砂防堰堤工
事業費:473百万円※**

※事業費については、桜島における直轄砂防事業の令和7年度補正予算を記載しております。



有村川3号堰堤改築完成イメージ

凡例	令和 7 年度補正実施	令和 8 年度以降
----	-------------	-----------

